庭園特論 (2単位)

担当者氏名 服部勉

◆学習・教育目標

日本国内の庭園のみならず、欧米の庭園空間を対象として、その庭園の歴史的意味や特徴について文化・社会的背景から読み解くことにより、都市空間や田園景観における展開の可能性など、現代社会における庭園の位置づけ・役割について造園計画学的側面から考察することを主眼とする。更に庭園の評価・研究上必要となる各種文献などの分析方法・研究の視点についても合わせて講義する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

日本庭園 _____ 西洋庭園 _____ 海外の日本庭園 _____ 庭園の評価 _____
 庭園の分析法 _____ 庭園の意味 _____ ランドスケープ遺産 _____ 庭園の活用と運営 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	研究動向の把握 1	・ランドスケープ研究をはじめとした関連学術雑誌を中心とした研究レビューの作成と分析。	授業の進行については講義と課題を連動しつつ実施する予定。そのため事前に課題作成などに多くの時間を費やすこともあるので十分に留意して受講に望むこと。
2	研究動向の把握 2		
3	庭園史研究の視点と展	・庭園史研究の今後の展開や社会動向との関係性について修得する。	
4	開 1・2		
5	日本庭園	・日本庭園の景観構成上の特徴についての理解と庭園の歴史的・文化的意味について評価の観点を交えて探る。	
6	その歴史的特徴と景観		
7	構成 1・2・3		
8	西洋庭園	・西洋庭園の景観構成と日本庭園との対比を図り、その特徴を顕在化させる。また海外における庭園の在り方などについての検討も実施。	
9	その歴史的特徴と景観		
10	構成 1・2・3		
11	海外における日本庭園	・海外における日本庭園の景観構成、特に自然感との関係性や空間意匠の表現上の特徴、庭園のマネージメント事例について検討。	
12	その歴史的特徴と社会		
13	背景 1・2・3		
14	ランドスケープ遺産の	・現在進行・展開する庭園を中心としたランドスケープ遺産の現状と課題について検討。	
15	保全と活用 1・2		

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

講義の時に必要な資料は配布します。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

ランドスケープ大系第1巻 ランドスケープの展開/日本造園学会編/技報堂出版 (1996)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

社会の動向に即した課題設定を実施し、その課題の作成過程を通じて、現在庭園が置かれている状況などを検討する予定のため、全ての課題(体裁 30%, 内容 70%)によって評価する。

◆その他受講上の注意事項

事前の調査、それに基づく発表・意見交換、現地調査など、学生自らの思考と行動に重きを置きます。

質問は講義中や e-mail toms@nodai.ac.jp または研究室へ。